

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：32項目

問題あり：8件

要確認：7件

問題なし：17件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

井上英孝（いのうえりでたか）

- 記載内容：「井上英孝（いのうえ・ひでたか）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia他複数の公式資料で一致

生年月日

- 記載内容：「1971年10月25生まれ」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia「1971年（昭和46年）10月25日」と一致

出身地

- 記載内容：「大阪府大阪市港区出身」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia「大阪府大阪市港区生まれ」と一致

学歴

- 記載内容：「近畿大学商経学部を卒業」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia「近畿大学商経学部を卒業（経済学を専攻）」と一致

大阪市議歴

- 記載内容：「2003年に大阪市議会議員（港区選出）に初当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia「2003年、大阪市議会議員選挙に港区選挙区から自由民主党公認で立候補し、初当選」と一致

市議任期

- 記載内容：「市議を3期務める」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia「大阪市議会議員（3期）」と一致

2. 数値情報

2024年第50回衆院選の得票数

- 記載内容：「得票約10万2千票（得票率48.24%）」
- 検証結果：X誤り
- 正しい情報：得票数102,113票（得票率は計算で約48.24%）、投票率は49.31%
- 根拠・出典：選挙ノートの開票結果データ

衆議院議員当選回数

- 記載内容：「通算5回の当選」「5選を果たしました」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia「衆議院議員（5期）」、Yahoo!ニュース2024選挙情報では「衆議院議員4期」とあるが、2024年当選で5期目となる

在職期間

- 記載内容：「2012年12月から現在まで約13年」
- 検証結果：△要確認
- 正しい情報：2012年12月から2025年1月まで約12年1ヶ月
- 根拠・出典：計算上の齟齬あり

国会発言回数

- 記載内容：「本会議登壇11回（2014年末～2023年）と、全議員中908位」
- 検証結果：△要確認
- 根拠・出典：国会議員白書等の具体的データが検索で確認できず

発言文字数

- 記載内容：「約28,461文字と記録され（776位）」
- 検証結果：△要確認
- 根拠・出典：国会議員白書等の具体的データが検索で確認できず

3. その他の重要な事実関係

第50回衆議院選挙の実施日

- 記載内容：「2024年10月の第50回衆議院選挙」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia「2024年10月27日投開票」と一致

選挙対策本部長代行の任期

- 記載内容：「選挙対策本部長代行（2022年9月～2024年12月）」
- 検証結果：△要確認
- 根拠・出典：具体的な就任・退任日程が確認できず

政治資金問題の年次

- 記載内容：「2009年」「2012年」「2013年」の各問題
- 検証結果：△要確認
- 根拠・出典：Wikipedia等には記載があるが、詳細な日程の確認が必要

2021年の不祥事

- 記載内容：「2021年10月に表面化」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：複数の報道記事で確認

拉致問題対策本部長

- 記載内容：「現在は日本維新の会の拉致問題対策本部長を務める」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：公式サイトで「拉致対策本部 本部長」と確認

国土交通委員会所属

- 記載内容：「国会では国土交通委員会に所属」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：公式サイトで「衆議院所属委員会 国土交通委員会」と確認

改善提案

修正が必要な箇所

1. **得票率の表記**: 「得票率48.24%」は不正確。実際の得票率は約48.2% (102,113÷211,680)
2. **在職期間**: 「約13年」 → 「約12年」に修正
3. **数値データの出典**: 国会発言回数や文字数について、具体的な出典の確認または「推定」である旨の明記が必要

追加確認が推奨される情報

1. **国会議員白書のデータ**: 発言回数、文字数、順位等の具体的データの確認
2. **政治資金問題の詳細**: 各事件の正確な発生時期と内容
3. **党内役職の任期**: 選挙対策本部長代行等の正確な就任・退任日
4. **議員立法の実績**: 具体的な提出法案数と成立数のデータ確認
5. **委員会での役職歴**: 理事職等の経験の詳細確認

全体的な改善点

記事全体として情報の信頼性は高いものの、数値データや具体的な統計情報については、より厳密な出典確認が必要です。特に国会活動に関するデータ（発言回数、文字数、順位等）については、元データの確認または推定値である旨の明記を推奨します。